

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
時間数は50分換算			科目コード		1	
授業科目名		授業形態		学科・コース		
コミュニケーション活動 I		演習科目		美容科・ヘアメイク科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	1	森脇 勘成 岡村 迪子 鈴木 由美 吉澤 優人 山本 和樹 森川 真琴	
<b>履修要件</b>						
必修科目であるため必ず履修が必要である						
<b>授業の目的・目標</b>						
クラスや学科でのグループ活動をとおして、社会性を身に着ける。ビューティーに役立つイベント参加等で視野を広げる。また、レクリエーションを通してコミュニケーションの大切さを学ぶ。						
<b>授業の概要</b>						
各種プログラムを通して、感性の向上とコミュニケーションの重要性を理解し、相手に考えや意思を伝え合うことを学ぶ。						
<b>成績評価の方法</b>						
授業態度や参加意欲および出欠席状況、レポートなど総合的に評価する。					課題	30%
					学習意欲	70%
<b>使用テキスト・教材</b>						
<b>授業内容・授業計画</b>						
			時間数			時間数
1.	オリエンテーション		2			
2.	〃		2			
3.	〃		2			
4.	〃		2			
5.	学校行事・学科活動		2			
6.	〃		2			
7.	〃		2			
8.	健康診断		2			
9.	レクリエーション		2			
10.	〃		2			
11.	〃		2			
12.	〃		2			
13.	学外イベント参加		2			
14.	〃		2			
15.	〃		2			
<b>履修上の注意事項</b>						
<b>その他</b>				<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。						
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）				年度	2026年度
時間数は50分換算				科目コード	3
授業科目名		授業形態		学科・コース	
ITリテラシー I		演習科目		美容科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	森脇 勘成 岡村 迪子 鈴木 由美 吉澤 優人 山本 和樹 森川 真琴
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
自分のパソコンの使用環境を設定する。Microsoft365などを使用できるようになる。スマホと連携して今後の授業活動に活用できるように知識を習得する。生成AIを適切に利用することを学習する。					
授業の概要					
自分のパソコンに必要となるアプリケーションをインストールし、情報機器を連携させて活用することができるようになる。具体的にはMicrosoft365環境の実装、各アプリケーションの基本的な利用方法を習得する。OneDrive環境を利用したスマホ⇄タブレットの連携方法ができるようになる。生成AIの適切な利用方法を演習を通して学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出された課題の完成度） 2. 提出物（授業内での経過・学習状況） 3. 学習意欲（授業意欲の有無、授業に取り組む姿勢）				課題	30%
				提出物	30%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
使用テキスト：なし 教材：自分のタブレット、ヘアキャンプ、モノグサ					
授業内容・授業計画					
			時間数		時間数
1	オリエン、インストール確認		1		
2	OSの基本操作、Zoomの使い方		1		
3	Webアプリとデスクトップアプリについて		1		
4	〃		1		
5	〃		1		
6	スマホとパソコンを連携させる		1		
7	〃		1		
8	〃		1		
9	生成AIの活用方法		1		
10	〃		1		
11	〃		1		
12	〃		1		
13	〃		1		
14	〃		1		
15	〃		1		
履修上の注意事項					
各種プログラムにより、課題を提出することが求められる。					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		
			2026年度		
			科目コード		
			6		
授業科目名		授業形態		学科・コース	
衛生管理 I		講義科目		美容科、ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	村松 美佳 森川 真琴
<b>履修要件</b>					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
<b>授業の目的・目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会においてより厳格化している「公衆衛生」への意識を高める</li> <li>・理容師・美容師法に基づき公衆衛生の向上に寄与するための知識を習得する</li> <li>・関係法規と連動したものを深く理解し、国家試験合格に必要な学力を養う</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義では、公衆衛生の基礎から、微生物による感染症のメカニズム、そして法律で定められた各種消毒法について体系的に学ぶ</li> <li>・理容師・美容師法の基づいた衛生管理の実践力を身につけ、プロとして現場に立つための責任感と倫理観を育む</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
・小テスト、定期試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する				定期テスト	80%
				小テスト	10%
				学習態度	10%
<b>使用テキスト・教材</b>					
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 衛生管理					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	第1編第1章1節～同2節2まで	2	16.	第3編第1章1節～同1節3まで	2
2.	第1編第1章3節～同3節まで	2	17.	第3編第1章1節	2
3.	第1編第1章4節～第2章1節1まで	2	18.	第3編第1章2節	2
4.	第1編第1章4節～第2章1節2まで	2	19.	第3編第1章3節～同3節4まで	2
5.	第1編第2章1節2～第2章1節2-⑤(がん)まで	2	20.	第3編第1章3節5～同3節6まで	2
6.	第1編第2章1節2-⑥(循環器疾患)～第2章1節2-⑨(アルコール)まで	2	21.	第3編第2章1節～同2節1-③まで	2
7.	第1編第2章1節2-⑩(身体活動・運動)～第2章1節3まで	2	22.	第3編第2章2節1-④～同2節2-⑧まで	2
8.	第2編第1章1節	2	23.	第3編第2章2節1-⑨～同2節3-①まで	2
9.	第2編第1章2節～同2節2-②(湿度)まで	2	24.	第3編第2章2節3-②～同3節1まで	2
10.	第2編第1章2節2-③～同3節1まで	2	25.	第3編第2章3節2～同3節4まで	2
11.	第2編第1章3節2	2	26.	第4編第1章1節～同2節まで	2
12.	第2編第1章4節	2	27.	第4編第1章3節	2
13.	第2編第1章5節～6節	2	28.	第4編第1章4節	2
14.	テスト勉強	2	29.	テスト勉強	2
15.	テスト勉強	2	30.	テスト勉強	2
<b>履修上の注意事項</b>					
・本科目は美容師資格指定科目であるため、全て履修しなければならない					
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は50分換算			科目コード		8
			授業科目名		授業形態
美容保健 I			講義科目		美容・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	長島 恵理 高田 亜紀子 森川 真琴
<b>履修要件</b>					
・必修科目であるため必ず履修が必要である					
<b>授業の目的・目標</b>					
皮膚・毛髪・人体の構造、機能に関する科学的知識を美容技術と関連させながら学ぶ。 なぜ美容で人体の構造及び機能を美容技術と関連させながら学ぶ必要があるのかを考察できる。					
<b>授業の概要</b>					
安全で効果的な美容技術を提供するための基礎となるものを築く。 特に、皮膚や毛髪などに関する保健衛生においては、衛生管理と関連させながら、体系的に知識の習得を行う					
<b>成績評価の方法</b>					
定期試験（前期試験）を実施し、授業態度・出席状況を考慮して成績を評価する。				定期試験	80%
				授業態度・出席	20%
<b>使用テキスト・教材</b>					
公益社団法人日本理美容教育センター発行 書名：保健及びワークブック					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	第1章 頭部・顔部・頸部の体表解剖学	2	16.	第1章 皮膚の表面、断面、表皮と真皮の堺	2
2.	第2章 骨格器系	2	17.	真皮、皮下組織、皮膚の部位差	2
3.	第2章 骨格器系とその働き	2	18.	第2章 毛、脂腺(皮脂腺)汗腺、爪	2
4.	第3章 筋系 種類と特徴	2	19.	第3章皮膚の血管、皮膚のリンパ管、皮膚の神経	2
5.	第3章 骨格筋の働き・表情筋と表情運動	2	20.	対外保護作用、体温調節作用	2
6.	第4章 神経系・中枢神経系と働き	2	21.	知覚作用と皮膚反射、分泌排出作用	2
7.	第4章 末梢神経系とその働き	2	22.	呼吸作用、貯蔵作用、免疫、解毒	2
8.	第5章 感覚器系 視覚・聴覚	2	23.	排除作用、再生作用、毛・爪の働き	2
9.	第5章 平衡感覚・味覚・嗅覚・皮膚感覚	2	24.	皮膚と全身状態、皮膚と精神、栄養	2
10.	第6章 血液と免疫系	2	25.	皮膚とし好品、皮膚の体内病変	2
11.	第7章 循環器系 心臓のあらまし	2	26.	皮膚の水分と脂の状態	2
12.	第7章 心臓と血管の働き・リンパ管の働き	2	27.	皮膚・付属器官とホルモン	2
13.	第8章 呼吸器系 呼吸器系のあらまし	2	28.	皮膚の水分と脂の状態	2
14.	第8章 呼吸運動	2	29.	毛の保護と手入れ、爪の保護と手入れ	2
15.	第9章 消化器系 消化器系の仕組みと働き	2	30.	子供のおしゃれによる皮膚トラブル・その他	2
<b>履修上の注意事項</b>					
・本科目は美容師資格指定科目であるため、全て履修しなければならない					
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※单元ごとと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
				10	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
化粧品化学		講義科目		美容・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	品川 杏彩 岩本 ひとみ
<b>履修要件</b>					
美容師国家試験の「筆記試験（55問）」の一部として出題されるため、必ず履修すること。					
<b>授業の目的・目標</b>					
化粧品原料を主軸に美容師として必要な化粧品の「成分」「用途機能」「製品特性」等に関する知識を身に付ける。美容師の業務の中で常に扱う化粧品・医学部外品類を正しい使用目的で扱うことの重要性を学ぶ。					
<b>授業の概要</b>					
ビューティークリエイターとして仕事をする上で必要な化粧品化学の基礎知識を学ぶ。化粧品の性状や分類、安全性等を学び美容師として知識を学ぶ。					
<b>成績評価の方法</b>					
定期試験（前期・後期試験）を実施し、授業態度、出席状況、小テスト、国家試験対策の結果を考慮して成績を評価する。				授業態度	70%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
筆記用具・メモ・タブレット					
<b>授業内容・授業計画</b>					
1. 化粧品総論・化粧品とは			時間数	16. <small>メイクアップ製品・ポイントメイクアップ化粧品・アイメイクアップ化粧品・まつ毛ケア製品</small>	
2. 化粧品総論・化粧ヒント造形				17. <small>メイクアップ製品・ネイルメイクアップ製品・ネイルケア製品</small>	
3. 化粧品総論・化粧品の効果と使用プロセス				18. <small>ヘアクレンジング用化粧品・ヘアコンディショニング用化粧品</small>	
4. 香商品を使用する際に気をつけるべきこと・化粧品の使用によるトラブル				19. <small>ヘアスタイリング料</small>	
5. 香商品を使用する際に気をつけるべきこと・香商品の定義と法規制				20. <small>パーマ剤</small>	
6. 香商品を使用する際に気をつけるべきこと・化粧品の安全性と安定性				21. <small>ヘアカラー製品</small>	
7. 化粧品の成り立ち・化粧品の成り立ち・水と親水性溶媒				22. <small>スカルプケア製品</small>	
8. 化粧品の成り立ち・油性原料・界面活性剤				23. <small>まとめ</small>	
9. 化粧品の成り立ち・高分子化合物・色材				24. <small>まとめ</small>	
10. 化粧品の成り立ち・香料・製品を安定させる配合原料				25. <small>まとめ</small>	
11. 化粧品の成り立ち・その他の機能的配合原料・雑貨原料				26. <small>国家試験対策</small>	
12. まとめ（前期筆記試験対策）				27. <small>国家試験対策</small>	
13. <small>スキンケア製品・化粧品の効果と使用プロセス・クレンジング用化粧品</small>				28. <small>国家試験対策</small>	
14. <small>スキンケア製品・コンディショニング用化粧品・トリートメント用化粧品</small>				29. <small>国家試験対策</small>	
15. <small>メイクアップ製品・メイクアップ製品の種類と剤形・ベースメイクアップ化粧品</small>				30. <small>国家試験対策</small>	
<b>履修上の注意事項</b>					
<p>単元ごとの小テストを実施する。</p> <p>本科目は美容師資格指定科目であるため、2年間で60時間以上履修しなければならない。</p>					
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
時間数は50分換算				科目コード	
				11	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
美容文化論 I		講義科目		美容科・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	2	安富 万里子 橋本 明奈 吉澤 優人
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
美容文化やファッションに関する知識や歴史を身に付け、幅広いデザイン提案ができる美容師を目指す。現在は過去の上に成り立っていることを理解し、またファッションや時事の出来事との繋がりを意識することがこれからの歴史を創っていく原動力となる。					
授業の概要					
日本の理容・美容の歴史及びファッション文化史を単元ごとに進めていく。各単元の最後に小テストを実施することで確実に知識を得る。					
成績評価の方法					
学期末試験（9月・2月に実施） 学習意欲（出席率・小テスト・授業に取り組む姿勢や意欲）				授業態度	60%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
筆記用具・メモ・タブレット					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	オリエンテーション	1	16.	第5節 近世（江戸時代）	1
2.	第1章 第1節 総論・第2章-第1節	1	17.	〃	1
3.	第2章-第2節 江戸時代の理容業・美容業	1	18.	〃	1
4.	第3節 近代の美容業・美容業	1	19.	第6節 近代（明治時代）	1
5.	〃	1	20.	〃	1
6.	〃	1	21.	第7節 近代（大正時代）	1
7.	第4節 現代の理容業・美容業	1	22.	第8節 近代（昭和20年まで）	1
8.	〃	1	23.	第9節 現代（1945～1950年代）	1
9.	第3章-第1節 第1節（縄文～古墳時代）	1	24.	〃	1
10.	〃	1	25.	第10節 現代（1960～1970年代）	1
11.	第2節 古代（飛鳥～平安時代）	1	26.	〃	1
12.	〃	1	27.	第11節 現代（1980～1990年代）	1
13.	第3節 中世（平安時代末～戦国時代）	1	28.	〃	1
14.	〃	1	29.	第12節 現代（2000～2010年代）	1
15.	第4節 近世（戦国末～安土桃山時代）	1	30.	〃	1
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)			年度		2026年度	
時間数は50分換算			科目コード		14	
			授業科目名		授業形態	
美容技術理論 I			講義科目		美容科・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	6	岡村 迪子 森脇 勘成 鈴木 由美 吉澤 優人 山本 和樹 森川 真琴	
履修要件						
必修科目であるため必ず履修が必要である						
授業の目的・目標						
美容の業務を安全かつ効果的に行うため、道具・器具・機械等の正しい取り扱いや、理論に基づいた施術法を学ぶ。美容師の仕事に準ずる基礎知識の習得と国家試験の合格基準を満たす土台を築く。						
授業の概要						
必要に応じて、実際の道具や、画像・動画教材を使用し、理論と実際が結びつく授業を展開する。						
成績評価の方法						
定期試験（前期・後期試験）を実施し授業態度、出席状況を考慮して成績を評価する。					定期試験	80%
					授業態度・出席	20%
使用テキスト・教材						
公益社団法人日本理容美容教育センター発行 ワークブック					書名：美容技術理論 I 及び	
授業内容・授業計画						
			時間数			時間数
1.	序章 美容技術理論を学ぶにあたって		6			
2.	第1章 美容道具		8			
3.	第2章 シャンプーイング		12			
4.	第3章 ヘアデザイン		10			
5.	第4章 ヘアカットイング		12			
6.	第5章 パーマネントウェーブ		14			
7.	第6章 ヘアセットイング		14			
8.	第7章 ヘアカラーリング		14			
履修上の注意事項						
その他			関連科目			
※单元ごと演習課題を実施する。			美容実習 I			
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は50分換算			科目コード		14
			授業科目名		授業形態
美容実習 I			演習科目		美容科・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	420	14	岡村 迪子 森脇 勘成 鈴木 由美 吉澤 優人 山本 和樹 森川 真琴
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
国家試験課題2課題に対し、合格基準を満たすための基礎を築く。 1年次に国家試験合格レベル70点を目指す。					
授業の概要					
美容技術の手技・正対を学び反復練習を身につけさせ、基礎力（理論的知識）の向上を図る					
成績評価の方法					
出席率と授業に望む姿勢 チェックテストの可否 課題への取り組み 理論的理解				平常点	70%
				課題点	30%
使用テキスト・教材					
実習用具一式、美容技術理論教科書 1					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1.	国試ワインディングへの導入、コーム手技、ブロッキング、二重ゴム手技の習得	6	16.	課題導入・用具類に説明・実習にあたり決まり事伝達	6
2.	ワインディングウィッグ作成準備	8	17.	ローション塗布・コームの扱いと手技・理論的知識伝達	8
3.	ブロッキング構成(12ブロック)・シェーブ・ゴムかけ	12	18.	フィンガーウェーブ・リッジ作成	14
4.	上巻きの習得	12	19.	両サイドウェーブ幅の完成	16
5.	下巻きの習得	12	20.	馬蹄形の理解・上部からのウェーブ作成	14
6.	ロッドの理解、ロッド幅・センター完成(ステム理解)	14	21.	3段目(スカルプチュアカール)・3等分バランス理解	14
7.	フロントブロックの理解・フロントブロック構成	14	22.	4段目(リフトカール)特徴理解と中央バランス	14
8.	サイドブロック構成・左右対称理解・ステム確認	14	23.	耳引き・4段目までの作成手順の理解	14
9.	上巻きブロック構成・配置	14	24.	5段目(逆リフトカール)までの完成・接続部	14
10.	バックサイドの構成・左右対称スライス	14	25.	馬蹄形1段目の構成とスカルプチュアカール位置	14
11.	全頭45分間(スライス重視)	16	26.	5段目完成 25分間	16
12.	全頭35分(スライス・ステム・P点)	16	27.	6段目(メイボールカール)・両サイドウェーブ	16
13.	全頭25分(センター基準・左右対称)	16	28.	7段目(クロッキノールカール)	16
14.	全頭22分(国試減点項目重視)	16	29.	全頭40分間	20
15.	全頭20分タイム重視(早巻き17分)	20	30.	全頭28分間	20
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			美容実習 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は50分換算				科目コード	18
授業科目名		授業形態		学科・コース	
美容総合実習 I		演習科目		美容科・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	安本 高士朗 水野 奈穂美 山田 卓 山咲 サトル 岡村 迪子 森川 真琴
<b>履修要件</b>					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
<b>授業の目的・目標</b>					
総合的な美容に関する、基礎技術及び知識を学び、応用に向けた土台づくりとする。					
<b>授業の概要</b>					
総合的な美容の基礎技術、知識、特に他者に触れる時の気配りを技術を通して学び、職業人としての心得を身につける。					
<b>成績評価の方法</b>					
授業内での試験（各単元によって実施） 学習意欲（出席率・小テスト・授業に取り組む姿勢や意欲）				授業態度	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
筆記用具・メモ・タブレット・各単元で講師から必要と指示があったもの					
<b>授業内容・授業計画</b>					
		時間数			時間数
1.	ヘアカラー基礎（塗布練習～知識）	3	16.	サロンワーク実習	3
2.	＼	3	17.	＼	3
3.	ヘアカラー基礎（知識）	3	18.	＼	3
4.	＼	3	19.	＼	3
5.	ヘアカラー基礎（モデル演習）	3	20.	＼	3
6.	メイク基礎（検定対策）	3	21.	サロン特別授業（各企業）	3
7.	＼	3	22.	＼	3
8.	＼	3	23.	＼	3
9.	＼	3	24.	＼	3
10.	＼	3	25.	＼	3
11.	着付け基礎（浴衣）	3	26.	＼	3
12.	＼	3	27.	＼	3
13.	着付け基礎（留袖）	3	28.	＼	3
14.	＼	3	29.	＼	3
15.	＼	3	30.	＼	3
<b>履修上の注意事項</b>					
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			美容総合理論 I		

シラバス(授業概要)			年度		2026年度
時間数は50分換算			科目コード		20
			授業科目名		授業形態
美容総合理論 I			演習科目		美容科・ヘアメイク科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	森脇 勘成 森川 真琴
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
美容師として働くための職業理解や、美容業界で活躍するための業界理解を学ぶ。 美容師としての幅広い活躍の仕方を知ること、就職意識を高めると共に自分自身の行動に結び付けることを目標とする。					
授業の概要					
活躍するプロを招き、そのマインドや取り組み姿勢を学ぶ。 自分たちの思いを伝えるや、意見交換をすることで、自分を知り、他者を知る。					
成績評価の方法					
1. 授業態度（授業内での対応・応答） 2. 課題（作文）				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
筆記用具・メモ・タブレットを基本とし、各単元で確認すること。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 講話①			2		
2. 講話②			2		
3. 講話③			2		
4. 講話④			2		
5. 講話⑤			2		
6. 講話⑥			2		
7. 講話⑦			2		
8. 講話⑧			2		
9. 講話⑨			2		
10. 講話⑩			2		
11. 講話⑪			2		
12. 講話⑫			2		
13. 講話⑬			2		
14. 講話⑭			2		
15. 講話⑮			2		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			美容総合実習 I		

シラバス(授業概要)				年度	
				2026年度	
				科目コード	
				22	
授業科目名		授業形態		学科・コース	
キャリアプラン		演習科目		美容科・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	吉竹 てるみ 鈴木 由美
<b>履修要件</b>					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
<b>授業の目的・目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。</li> <li>・サービス業に求められる基本的な接客スキルを身につけ実践できるようになる。</li> <li>・就職活動に向けての心得と対策を学ぶ。</li> </ul>					
<b>授業の概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人として必要となるビジネスマナーの習得を目指します。</li> <li>・サービス業で必要となるおもてなしの心とは何か、またその表現方法の習得を目指します。</li> <li>・就職活動に対する意識を高め、企業が求める人材育成を目指します。</li> </ul>					
<b>成績評価の方法</b>					
1. 筆記試験（小テスト、学期末試験等の実施）				授業態度	50%
				課題	50%
<b>使用テキスト・教材</b>					
筆記用具・メモ・タブレット					
<b>授業内容・授業計画</b>					
			時間数		時間数
1.	オリエンテーション(シラバスの説明、授業の進め方、成績評価について) 他已紹介		2		
2.	社会人への意識改革、企業が求める人物像、マナーの重要性、CSについて		2		
3.	ビジネスマナー①(第一印象、挨拶、姿勢、身だしなみ) <演習>		2		
4.	ビジネスマナー②(言葉遣い、印象度アップの話し方)		2		
5.	敬語、言葉遣いに関する小テストの実施、答え合わせを行いながら解説 <小テスト>		2		
6.	ビジネスマナー③(電話応対)		2		
7.	接客サービス①(お客様に喜ばれる接客について考える)		2		
8.	接客サービス②(待機姿勢、表情コントロール、お出迎えとお見送りの挨拶) <演習>		2		
9.	テスト前の復習と学期末試験の実施 <学期末試験>		2		
10.	学期末試験の解答と解説、授業総まとめ		2		
11.	就職活動に向けて		2		
12.	〃		2		
13.	履歴書書き方		2		
14.	添削		2		
15.	まとめ		2		
<b>履修上の注意事項</b>					
<b>その他</b>			<b>関連科目</b>		
※単元ごと演習課題を実施する。			美容総合実習 I		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年度	2026年度
時間数は50分換算				科目コード	23
授業科目名		授業形態		学科・コース	
修了制作		演習科目		美容科・ヘアメイク科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	30	1	森脇 勘成 岡村 迪子 森川 真琴
履修要件					
必修科目であるため必ず履修が必要である					
授業の目的・目標					
美容師として働くための職業理解や、美容業界で活躍するための業界理解を学ぶ。 美容師としての幅広い活躍の仕方を知ること、就職意識を高めると共に自分自身の行動に結び付けることを目標とする。					
授業の概要					
活躍するプロを招き、そのマインドや取り組み姿勢を学ぶ。 自分たちの思いを伝えるや、意見交換をすることで、自分を知り、他者を知る。					
成績評価の方法					
1. 授業態度（授業内での対応・応答） 2. 課題（作文）				授業態度	50%
				課題	50%
使用テキスト・教材					
筆記用具・メモ・タブレットを基本とし、各単元で確認すること。					
授業内容・授業計画					
			時間数		
1. 講話①			2		
2. 講話②			2		
3. 講話③			2		
4. 講話④			2		
5. 講話⑤			2		
6. 講話⑥			2		
7. 講話⑦			2		
8. 講話⑧			2		
9. 講話⑨			2		
10. 講話⑩			2		
11. 講話⑪			2		
12. 講話⑫			2		
13. 講話⑬			2		
14. 講話⑭			2		
15. 講話⑮			2		
履修上の注意事項					
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。			美容総合実習 I		